

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	大磯港活性化事業	担当課・係名	産業観光課みなと推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	28
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成21年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	大磯港の整備のあり方等について、県、関係団体等との調整を行う。				
対象 (誰を・何を)	町民、観光客、漁業関係者、骨材事業者				
内容	大磯港の整備のあり方等について、県、関係団体等との調整を行うとともに、国・県の関係団体等の諸活動にも参画し、連携を密にし、情報収集に努める。みなとまちづくりの推進のため、「大磯港みなとまちづくり協議会」活動の支援を行う。また、新たな観光の核づくり事業とも連携し、新しい大磯港のあり方を検討する				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,086	4,794	289
	国庫支出金	千円	1,446	2,298	
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,640	2,496	289
	職員人数 (概算職員数)	人			
	人件費計 (b)	千円			9,682
総事業費 (a)+(b)	千円	3,086	4,794	9,971	
事業費内訳 H 25 年度	旅費:4千円 需用費:50千円 使用料及び賃借料:45千円 負担金補助及び交付金:190千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 臨港駐車場利用台数	台	57,628	65,119	70,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 職員数	人	3	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 臨港駐車場利用台数	台	57,628	65,119	70,000
	② 臨港駐車場利用料	円	39,845,000	45,088,430	46,000,000

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	大磯港の整備や活性化を図るために町が関与することは妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	国の社会資本整備総合交付金を活用した海上観光の社会実験や大磯港案内看板の設置を行った。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	県、関係団体等と連絡、調整を図ることによって、大磯港の整備が順次行われている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	最小限の経費で効率的に実施している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	国の社会資本整備総合交付金（交付率1/2）を活用することにより、町の財政支出を抑えることが出来た。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 県、大磯港みなとまちづくり協議会などの関係団体と連絡、調整を図ることにより、大磯港の整備が順次行われている。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
大磯港活性化整備計画に基づき、今後も県と協力して大磯港の整備を進めるとともに、活気に溢れた魅力あるみなとづくりのために更なる事業やイベントを計画していく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
大磯港みなとまちづくり協議会の協力を得ながら、港の集客力を向上させ、活性化を図る新しいイベントを創出する。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

大磯港みなとまちづくり協議会と協働し、新しいイベントを創出し、港の集客力を向上させる。
